

第10回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会のご案内

テーマ 言語聴覚臨床のスコープ

第10回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会は、2009年6月13日(土)・14日(日)に岡山県倉敷市の川崎医療福祉大学で開催させていただきます。メインテーマを「言語聴覚臨床のスコープ」とし、全ての分野における基礎的知識、最新の知見、臨床技術を学び、議論していただきたいと存じます。

演題をご登録くださいました多くの先生方に心よりお礼申し上げます。口頭発表では音声や動画を活用した演題、理論的考察を含む演題を期待いたしております。また、ポスター演題は具体的資料をじっくり見せていただくうえでは適切な発表形式であると存じます。今回学会プログラム委員に各分野19名の先生方にご就任いただきました。演題の採否および配分について上記のような考え方で進めたいと存じますので、ご了解をいただきたいと存じます。また優秀なご発表については表彰を行いたいと存じます。

企画演題のうち会長講演は、外傷性脳損傷、右大脳半球損傷、認知症など失語症以外の認知コミュニケーション障害について、その症候とリハビリテーションを論じてみたいと思います。シンポジウムⅠ「嚥下訓練のEBM」では、4名の先生方にご自身が行っている直接訓練の技法に関するEBMをご紹介いただき、それらの成果を生理学的運動学的根拠との照合を図ることを目指します。シンポジウムⅡ「失語症の包括的理解」では、言語の神経科学、認知科学の発展を基盤として機能障害、活動制限、参加制約の各水準での介入について現在の到達点を展望したいと思います。特別講演および教育講演は関連テーマを2題ずつまとめ、小特集を組みました。「発達神経心理学」については、発達障害に関する認知心理学的的方法論による最新の成果をご紹介いただきます。「脳機能の回復とリハビリテーション」については、生理学とリハビリテーション医学の立場からそれぞれ論じていただきます。「聴覚障害診断法の進歩」では、新生児聴覚スクリーニングに関する成果を報告いただきます。「自閉症の神経科学」では、自閉症およびアスペルガー症候群に関する神経心理学的研究と生理学的研究をご紹介いただきます。「言語学の方法」では、音韻論と語用論の方法について解説いただきます。

生涯学習講座は基礎講座、専門講座それぞれ2講座ずつ行われます。また学生セミナーとして「摂食・嚥下リハビリテーション入門」を用意いたしました。

言語聴覚臨床の最前線について集約された情報が得られる格好の機会であると存じます。学会本番までいよいよ3か月、ご参加いただきます皆様にとりまして有意義な会となりますよう、事務局一同力を合わせて準備に取り組んでおります。新緑に彩られた古い町並みが楽しめる倉敷、古代吉備国の遺跡などたくさんのお見所があります。多くの先生方のお越しを心よりお待ちしております。

会 期：2009年6月13日(土)・14日(日)

会 場：川崎医療福祉大学(岡山県倉敷市松島288 JR中庄駅下車 徒歩15分・送迎バス3分)

会 長：種村 純(川崎医療福祉大学医療技術学部感覚矯正学科言語聴覚専攻)

ホームページ：<http://www.med-gakkai.org/jas1ht10>

参加費：会員・会友10,000円/学生：5,000円/非会員：13,000円

※参加事前オンライン登録は行いません。当日受付にて参加費を納入のうえ、名札(参加証明、領収証兼)をお受け取りください。学生参加者は学生証をお示しください。

【プログラム】

会長講演：「認知コミュニケーション障害の諸相」

種村 純(川崎医療福祉大学)

シンポジウムⅠ：「嚥下訓練のEBM」

司会：熊倉勇美(川崎医療福祉大学)

シンポジスト：小島千枝子(聖隷クリストファー大学)

岡田澄子(藤田保健衛生大学)

荻安 誠(北海道医療大学)

倉智雅子(新潟リハビリテーション大学院大学)

シンポジウムⅡ：「失語症の包括的理解」

司会：中村 光(岡山県立大学)/福永真哉(姫路獨協大学)

シンポジスト：渡辺真澄(新潟医療福祉大学)

杉山あや(国立リハビリテーションセンター病院)

吉畑博代(県立広島大学)

小林久子(メディカル総合学園首都医校)

Kwon Miseon(Asan Medical Center, Korea)

小特集1：「発達神経心理学」

十一元三(京都大学大学院)/宇野 彰(筑波大学大学院)

小特集2：「脳機能の回復とリハビリテーション」

岩村吉晃(川崎医療福祉大学)/前島伸一郎(埼玉医科大学国際医療センター)

小特集3：「聴覚障害診断法の進歩」

宇佐美真一(信州大学)/御牧信義(倉敷成人病センター)

小特集4：「自閉症の神経科学」

彦坂和雄(川崎医療福祉大学)/大東祥孝(京都大学)

小特集5：「言語学の方法」

辻 星児(岡山大学大学院)/小坂美鶴(川崎医療福祉大学)

その他：

○学生セミナー：「摂食・嚥下リハビリテーション入門」

——いろいろな物性で、飲み込みやすさを実体験してみよう——

熊倉勇美(川崎医療福祉大学)/佐野淳也(日清サイエンス株式会社)

○生涯学習講座

基礎講座：「研究法」「臨床業務のあり方と進め方」

専門講座：「臨床実習」「地域言語聴覚療法学～訪問言語聴覚療法～」

○ランチョンセミナー

【事務局】 川崎医療福祉大学医療技術学部感覚矯正学科言語聴覚専攻 内

〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288

TEL：086-462-1111(内線：54631)

FAX：086-463-7126

E-mail：jas10th@mw.kawasaki-m.ac.jp

事務局長 伊藤絵里子